

平成26年度事業について

群馬県文化振興指針 【基本目標】 2 県民が等しく文化を鑑賞・創造等できる
環境の整備

(1) 芸術文化等の振興

① 芸術文化の振興

- 県民の財産である群馬交響楽団を支援し、各種演奏会などの活動を通して県民が音楽に親しむ機会を提供します。

(現状・課題等)

- ・ 平成26年度には、定期演奏会の開催回数が 500回となる。
- ・ 平成27年夏には、群馬交響楽団創立70周年を迎える。

群馬県文化振興指針 【基本目標】 2 県民が等しく文化を鑑賞・創造等できる
環境の整備

(1) 芸術文化等の振興

② 群馬県特有の文化の振興

- 古代の東国文化の中心地であり、東日本最大の古墳大国である本県が誇る歴史文化遺産について調査研究を進め、再認識を促し、観光やイメージアップ等での活用を図ります。

(現状・課題等)

- ・ 古墳等の歴史文化遺産を「場所」や「もの」として紹介するだけでは、その価値や意義が県民に伝わりにくい。
- ・ 今後、本県の歴史文化遺産の魅力を発信していくためには、一定レベル以上の知識を持ったガイドボランティア育成が必要である。

群馬県文化振興指針 【基本目標】 2 県民が等しく文化を鑑賞・創造等できる
環境の整備

(3) 文化施設における鑑賞機会の充実

- 県立文化施設（美術館、博物館、図書館、多目的ホールなど）を文化活動の拠点とし、文化芸術の鑑賞、創造又は交流の場としての機能の充実を図るとともに、その特色を活かした文化芸術に関する教育及び普及啓発に取り組みます。

また、より効率的に県立文化施設の維持・管理・運営ができるよう努めます。

(現状・課題等)

- ・安全で適切な施設管理及び長寿命化を図るためにも、施設の計画的な改修や維持修繕が必要である。
- ・県内の小中学校等が、県立5館に一度は訪れて校外学習を行う仕組みづくりが必要である。
- ・美術館、博物館の入館者が更に増加するよう、PRに力を入れるなどの取組が必要である。

群馬県文化振興指針 【基本目標】 4 文化資産の保存及び活用

(4) 地域の文化資産の活用

- 本県が輩出した偉人の活動や精神を発信するとともに、偉人を通じて、地域への愛着や誇りを深め、魅力ある地域づくりを進める取組を促進します。

(現状・課題等)

- ・歴史上で活躍した人物を活用することにより、郷土への理解と関心を持ち、郷土を愛する心を高めるような取組が必要である。

[歴史博物館改修]

- 歴史博物館は開館34年目を迎えるが、平成23年8月に発生した重要文化財の水滴染み事故を受けて、現状の課題を早急に解決し、公開承認施設として再承認されることが県民に対する責務である。

(事業方針)

- ・公開承認施設の基準を満たす改修に加えて、展示も含め一体的に改修した方が効率的な改修(老朽化対応・機能改善)を実施する。

歴史博物館改修工事について

文化振興課

1 改修の基本方針

①公開承認施設の指針適合

公開承認施設の再承認を受け、重要文化財の展示ができるようにするため、「文化財公開施設の計画に関する指針」に適合する改修を文化庁と協議の上実施する。

②施設の老朽化と長寿命化への対応

耐用年数を超過している設備や機器については、建物の長寿命化やライフサイクルコスト削減等の観点から必要な改修を実施する。

③一体的に改修した方が効率的な改修（道連れ改修・機能改善等）

天井や壁等の改修に伴い撤去が必要となるものや、今回の工事と合わせて機能改善を図った方が効率的な改修を実施する。

④展示の再整備

今回の改修では、壁面全体や一部天井の断熱施工、全固定ケースの撤去・新設、資料や展示模型の撤去など、展示室を全面的に改修するので、建物改修工事に併せて展示の改修を行う。

2 予算計上額

委託料 100,000千円

- ・建物改修工事実施設計 77,000千円
- ・展示改修工事基本・実施設計 23,000千円

3 主な改修内容

(1) 建物改修工事

区分	主な内容
文化庁基準対応	・断熱気密対策 ・エアタイトケース設置（固定ケース） ・収蔵庫の漏水対策、前室・空調設置 ・学習ホールの空調更新 ・カーテンウォール断熱化 ・建築基準法適合工事等
老朽化対応	・耐用年数を超過した非常用発電、変圧器、直流電源設備、調光盤、中央監視装置、空調機等の更新等
機能改善	・企画展示室見直し、東国文化展示室・テーマ展示室の設置 ・視聴覚室客席更新 ・体験学習上屋設置 ・高所取付照明器具のLED化 ・環境モニタリング設備工事等

(2) 展示改修工事

区 分	主 な 内 容
現展示撤去・再配置	展示室の壁・天井・床等への造作、展示照明、ジオラマ等の撤去・再配置
東国文化展示室設置	「東国文化」をアピールする展示室の設置
既存模型更新	既存模型のうち劣化や史実に合わないものを更新
学習ホール整備	群馬の文化等を紹介する映像・情報機器の整備

(3) 展示方針

最新の発掘成果や群馬県史をはじめとする研究成果を踏まえ、学術性の高い展示を実現するとともに、東国文化の中心として栄えた群馬の歴史をわかりやすく展示する。

(4) 展示スペースレイアウト変更

企画展示室の面積を拡張し必要面積を確保するとともに、企画展示準備のための休館措置を解消するため、企画展示室を北側に移設する。併せて、東国文化展示室及びテーマ展示室を設ける等、常設展示のレイアウトも変更する。

(5) 収蔵品の移転

歴史博物館に収蔵されている重要文化財を含む9万8千点を超える歴史資料は、収蔵庫の改修期間中及び改修後の温湿度データ確認（約1年間）までは、外部の倉庫等に保管する。

- ・ 搬出期間：6ヶ月、保管期間：23ヶ月、搬入期間：4.5ヶ月

4 概算工事費 2,389,124千円

(1) 建物改修工事費：2,057,104千円

・ 基準対応：1,647,419千円

・ 老朽化対応：307,541千円

・ 機能改善：102,144千円

(2) 展示工事費：332,020千円

5 スケジュール

- ・ 設計期間 平成25年5月～12月
- ・ 工事期間 平成26年11～平成28年2月
- ・ 休館期間 平成26年10月～平成28年4月（プレオープン）
- ・ グランドオープン 平成29年4月
- （資料搬出入・仮保管 平成26年5月～平成28年12月）

